

6 家庭学習の進め方の指導について（5・6年）

【漢字練習帳に書く時の例】

きず	傷	傷	傷	傷口
しょう	傷薬	傷を負う	負傷	軽傷 重傷
	損傷	傷心	感傷	
ひはん	批判	批判	批判	批判
	批評	批評	批評	批評
そんざい	存在	存続	存立	存亡
	存分	保存		
ていきょう	提供	供給	試供品	
	供え物	子供		
	お供を連れて歩く			

【指導の流れ】

- 1 授業で新出漢字を学習した日の宿題に、漢字練習を出す。
「授業で書いた漢字の下に、二、三回練習した後、教科書の後ろに載っているそのほかの熟語も、練習してきましょう。」
- 2 「振り仮名に注意する漢字が出てきたら、赤でサイドラインを引き、意味の分からない熟語が出てきたら、意味調べをしてメモを取りましょう。」
- 2 加えて、国語ドリルの新出漢字のページで、筆順、へんやつくりなどを復習させる宿題も出す。
- 3 自主勉強として、今日習った漢字の漢字テストを自分で作成し、解くようにさせる。
「漢字テストを自分で作って、今日勉強した熟語を覚えたかチェックしましょう。間違った漢字は覚えるまで何回か練習しましょう。」

【留意点】

- 1 そのほかの熟語を練習することで、新出漢字との関連性に気付かせたり、意味を実感させたりすることができる。熟語の中には、今まで知らなかった熟語も出てくるので、この機会に、振り仮名や意味も覚えることが、今後の学習に役立つことを助言する。形だけで覚えても、すぐに忘れてしまうので、意味と関連させて覚える重要性に気付かせる。
- 2 漢字練習をするときは、へんやつくり、筆順などを意識しながら練習するように注意を促す。
- 3 自主勉強で、毎日漢字テストを作って解く習慣を付けると、漢字に強くなることを助言する。最近習っている漢字だけでなく、忘れたかもしれないような漢字を問題に出すことで常に復習できることに気付かせる。